

# 2005年3月期決算説明会

2005年5月13日

株式会社ホロン

JQ7748

Solutions for Mask & Wafer Metrology

# INDEX

1. 会社基本情報
2. 2005年3月期決算概要
3. 2006年3月期業績見通し

# 1.会社基本情報

# 会社概要

## 1.会社基本情報

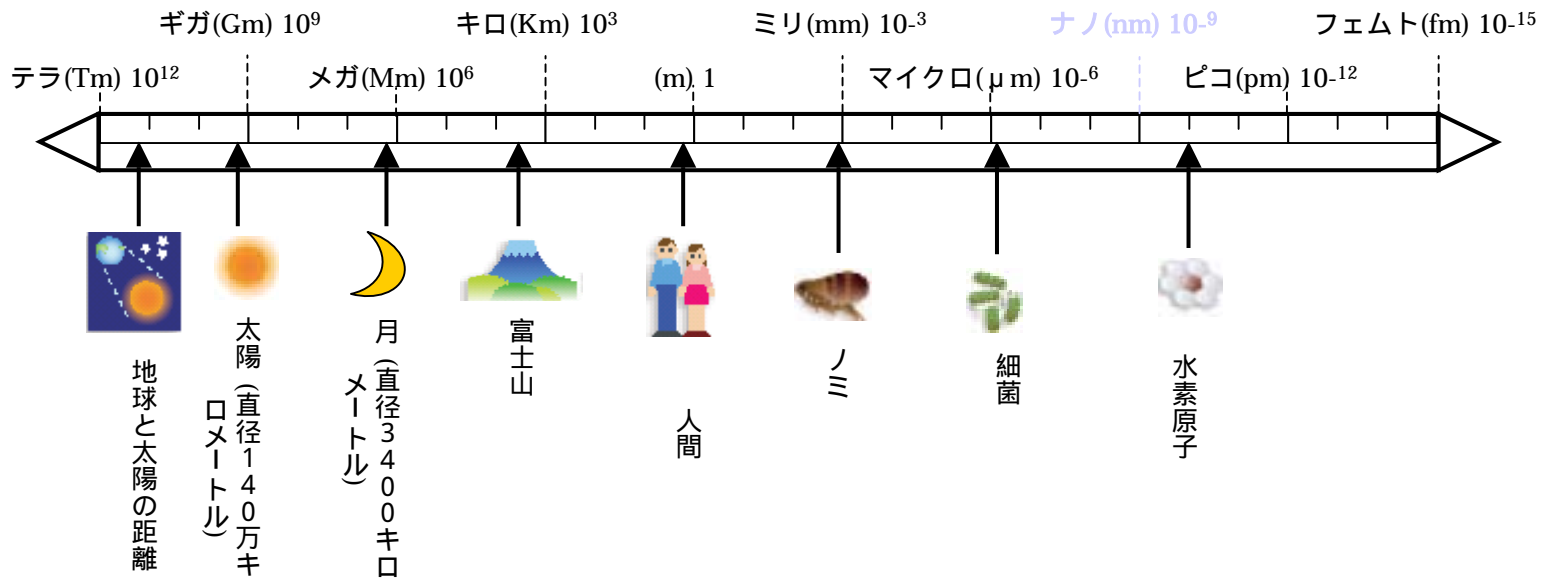
社名	株式会社ホロン
事業内容	半導体検査装置の開発、製造、販売、保守サービス
所在地	東京都新宿区新宿2 - 5 - 5 新宿土地建物第11ビル3F
代表者	富加津 好夫
資本金	5億8,595万円(2005年3月31日現在)
従業員数	53名(2005年3月31日現在)
沿革	1985年 5月 会社設立 1986年 10月 電子ビーム微小寸法測定装置(ESPA-11)を開発・発表 1996年 3月 テクニカルセンターを東京都狛江市から埼玉県所沢市 に新設・移転 1998年 12月 マスク用電子ビーム微小寸法測定装置EMU - 200/300 を開発・発表 2003年 4月 本社ビル移転(東京都新宿区は変わらず) 2004年 4月 韓国支店を開設 2004年 10月 EMU - 250を発表 2005年 2月 ジャスダック市場上場

# 企業方針

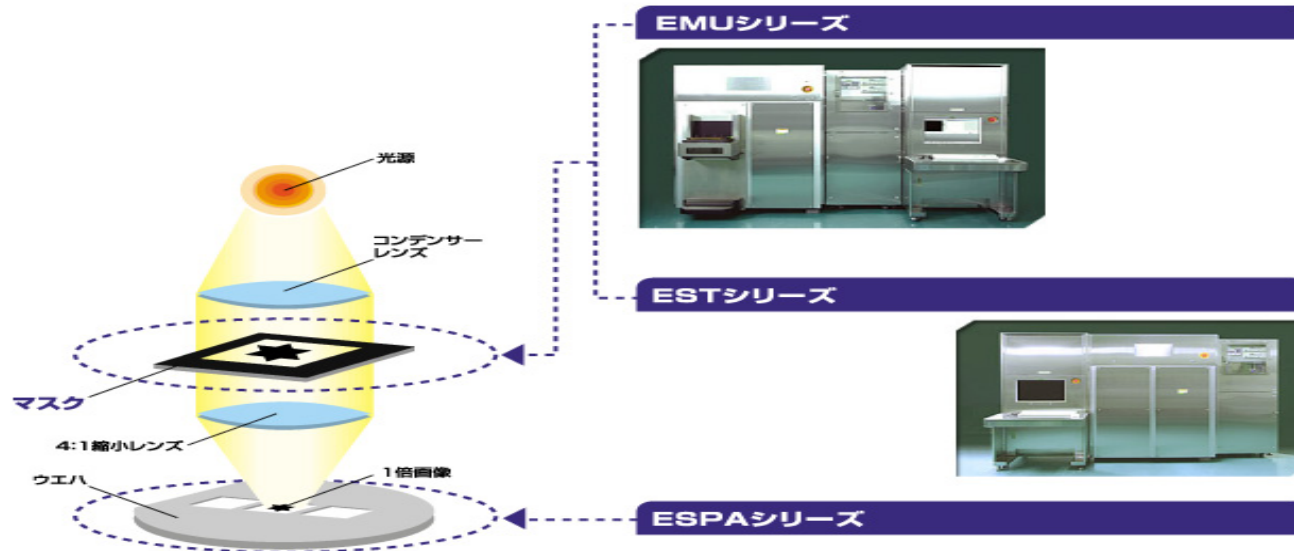
- ・創造性を持った技術
- ・インターナショナルな企業
- ・変化に対応できる個人重視の企業
- ・科学技術を通して社会の発展に貢献できる企業

# ホロンの事業

当社は、nm(ナノメートル)単位の半導体の回路寸法を、電子ビームによって測定する 検査装置の開発・製造・販売 を行っております。



# 製品ラインアップ



- 当社の製品には、半導体製造過程の中核となる「フォトリソ」プロセスに使用される、「ステッパー」と呼ばれる光学式転写装置の中の、マスクを測定対象とするEMUシリーズ及びESTシリーズ、ウエハを対象とするESPAシリーズがあり、電子ビームによって測定致します。

# 当社の主力製品

## EMUシリーズ:マスクCD-SEM

CD - SEM (Critical Dimension - Scanning Electron Microscope)  
: 電子ビームによる超微細寸法測定装置

半導体のリソグラフィー・プロセスには、マスクプロセスとウエハープロセスと呼ばれるものがあります。

写真の世界で例えると マスクはネガフィルム、ウエハーは印画紙に相当します。

EMUシリーズは、このマスクを電子ビームを使用して、ナノメートル単位の微小な寸法を測定する装置です。

当社はマスクCD-SEMのパイオニアであり、EMUシリーズは既に世界で最も多く採用され、**デファクトスタンダード**となっております。

また、EMUではNaviというアプリケーションを付けることによりレシピ(手順)作成無く自動運転が可能となっており、お客様の測定作業を効率化させることが可能となっております。

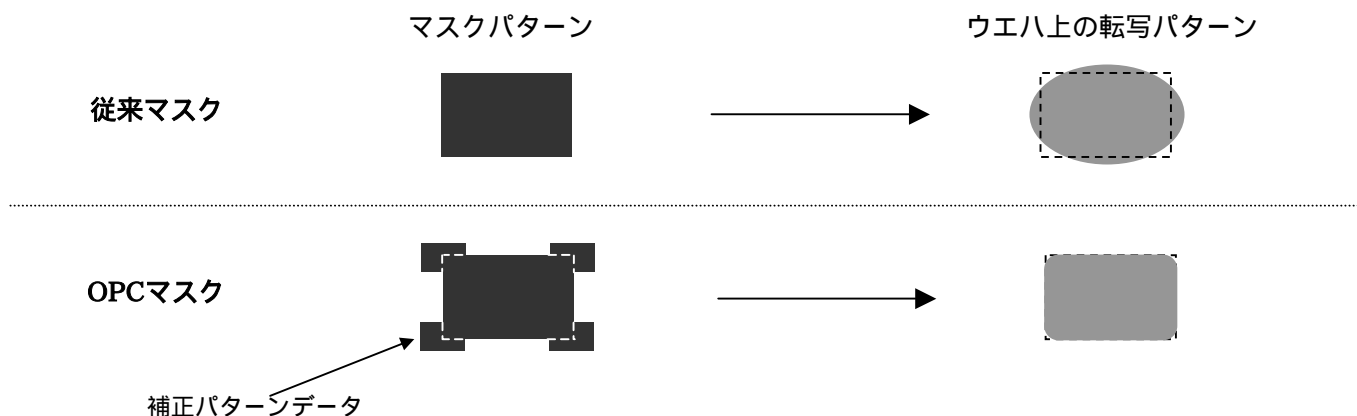




# 当社製品が求められる背景

- マスクの測定対象が、従来の光学式装置では計測できないレベルまで微細化が進行してきた。  
(次項:OPCマスクの登場)
- 当社製品が、電子ビーム照射により発生する際の技術上の固有の問題であるチャージアップ(帯電の発生)、コンタミネーション(汚染)を軽減しており、また、EMU - Naviというソフトを付加することにより手順作成の必要がなく、自動運転が可能であるという特徴があるため。

# OPCマスク

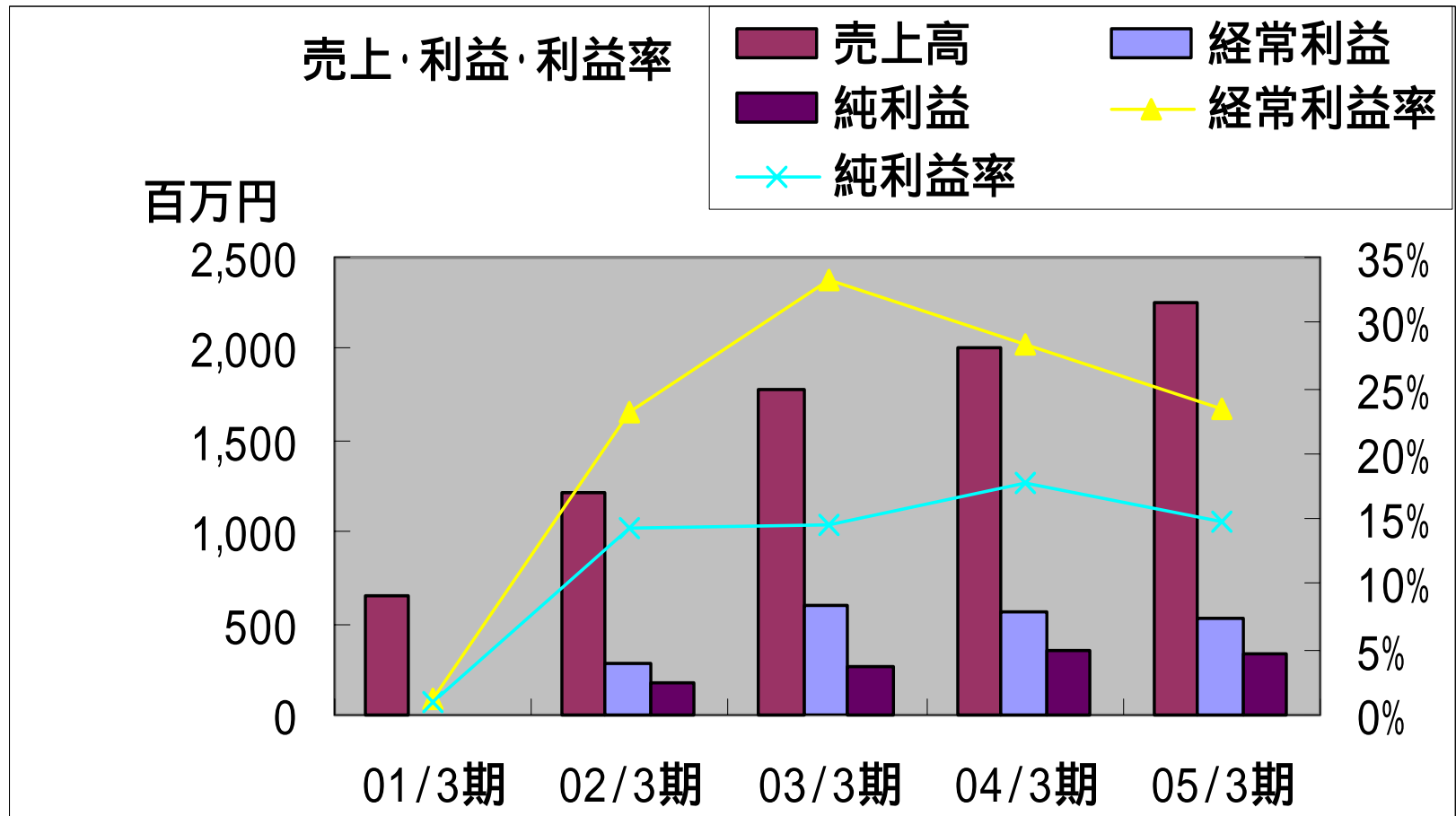


OPCマスクは、上図のように、あらかじめ転写の変形を見込んでマスクパターンを補正したマスクのことをいいます。

高密度なマスクを用いてパターンを転写する場合、光の波長の相互干渉(光近接効果)により、高い精度で転写することができなくなってきているからです。

# 当社の売上・利益水準

1.会社基本情報



# 当社の顧客

当社の顧客は、

- ・マスクメーカー
- ・デバイスメーカー
- ・ステッパメーカー
- ・EBリソグラフィメーカー等

の国内・海外の大手メーカーであり、  
顧客基盤は安定しております。

## 2.2005年3月期決算概要

# 2005年3月期決算のサマリー

- 前期比受注高50.2%増、売上高11.9%増
- 利益額、売上高利益率は前年比ともにダウン、当期純利益は前年比6.6%減
- 2005年3月期の受注残は119百万円まで減少

(単位:千円)

	2003/3期	2004/3期	2005/3期	前年比(%)
受注高	2,819,900	1,085,916	1,631,035	150.2%
受注残	1,663,420	739,100	119,846	16.2%
売上高	1,779,883	2,010,236	2,250,290	111.9%
当期純利益	258,356	358,039	334,337	93.4%

# PL実績

2.2005年3月期  
決算概要

	2003年3月期		2004年3月期		2005年3月期	
	金額	百分比	金額	百分比	金額	百分比
売上高	1,779,883	100.0%	2,010,236	100.0%	2,250,290	100.0%
製品	1,469,971		1,644,944		2,014,549	
その他	309,911		365,292		235,740	
売上原価	733,475	41.2%	836,166	41.6%	1,096,886	48.8%
売上総利益	1,046,408	58.8%	1,174,070	58.4%	1,153,403	51.2%
販管費及び一般管理費	447,701	25.2%	537,197	26.7%	623,570	27.7%
うち人件費	122,975	6.9%	157,502	7.8%	157,191	7.0%
うち研究開発費	187,708	10.5%	275,901	13.7%	232,356	10.3%
営業利益	598,707	33.6%	636,872	31.7%	529,833	23.5%
営業外利益	3,815	0.2%	2,420	0.1%	17,749	0.8%
営業外費用	11,624	0.6%	71,935	3.6%	20,289	0.9%
経常利益	590,898	33.2%	567,357	28.2%	527,293	23.4%
特別利益	-	-	-	-	-	-
特別損失	141,922	8.0%	212	0.0%	142	0.0%
法人税、住民税及び事業税	269,438		205,355		188,556	
法人税等調整額	78,819	10.7%	3,750	10.4%	4,256	8.5%
当期純利益	258,356	14.5%	358,039	17.8%	334,337	14.9%

PP:PL

# PL等実績：サマリー（1）

## 1. 利益の減少要因について

### (1) 売上高総利益率のダウン(58.4% 51.2%)

- ・競合他社の参入。
- ・技術ロード進行への対応による一部ハイエンド製品の原価率アップ

### (2) 販管費の増加(前年比増加額約86百万円)

- ・試験研究費が約44百万円減少したものの、海外販売に係る代理店手数料等コスト増約+95、上場費用・韓国支店開設費用等約+20等により増加

### (3) 営業外損益 2百万円

- ・営業外損益は今期マイナスとなったが、下記のとおり前期より改善したため、営業利益と比較して経常利益、当期純利益は微減にとどまる。

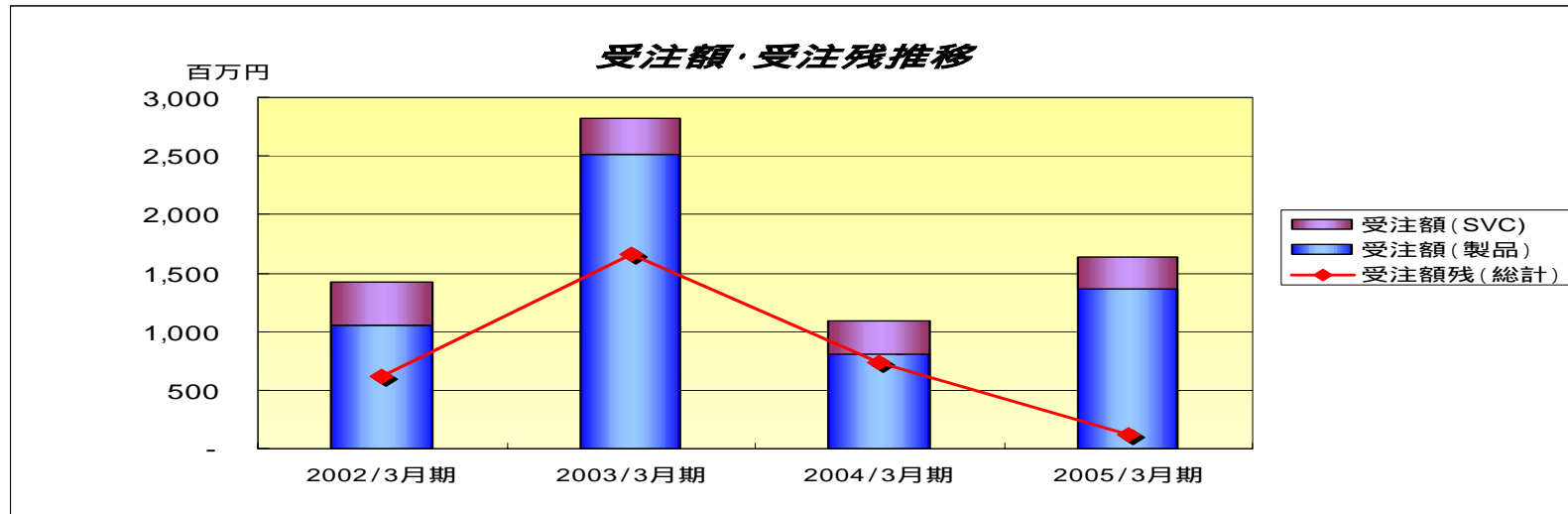
## 営業外損益の主な内訳

(単位：百万円)

	2004年3月期	2005年3月期	増減
為替差損益	64	16	80
新株発行費	0	15	15
合計			65



# PL等実績:サマリー(2)



	2002/3月期	2003/3月期	2004/3月期	2005/3月期
受注額 (製品)	1,058	2,517	802	1,368
受注額 (SVC)	364	303	284	263
	2002/3月期	2003/3月期	2004/3月期	2005/3月期
受注額残 (総計)	618	1,663	739	119

## 2. 受注残高の減少について

- (1) 上記同様、競争の激化によるもの
- (2) 以前より短納期での納入が求められることになったもの

# BS実績(1)

2.2005年3月期  
決算概要

(単位:千円)

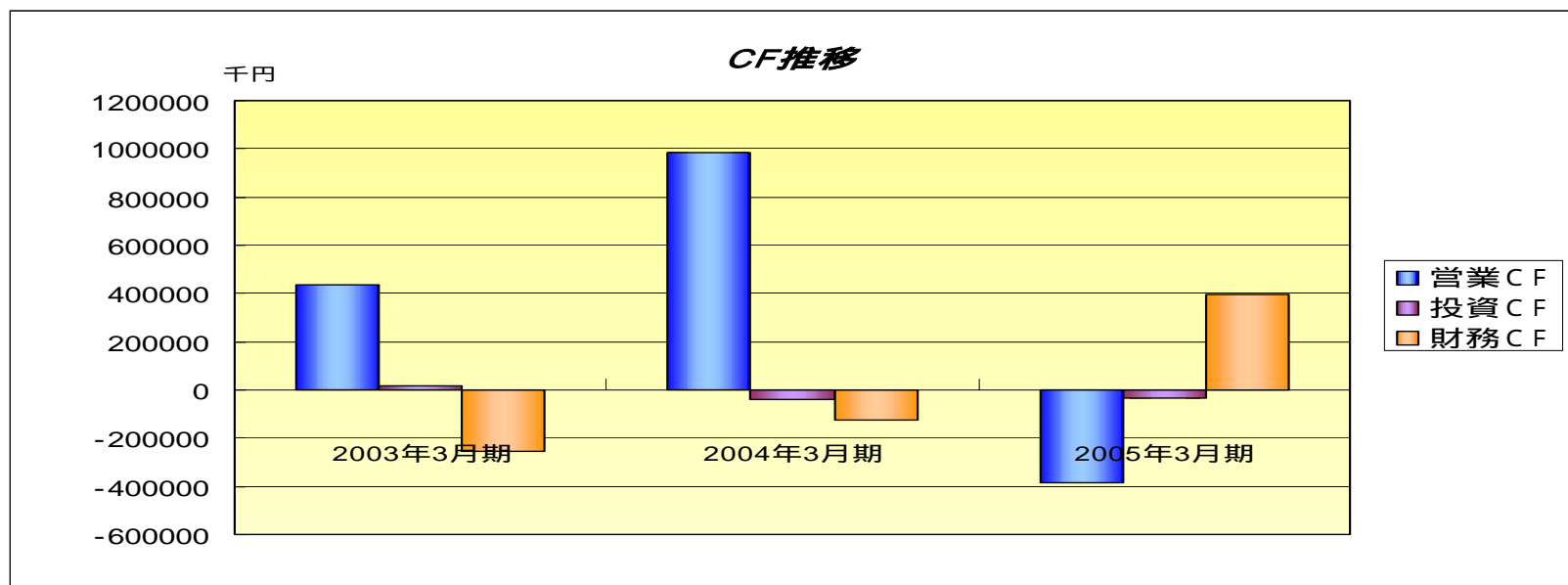
科目	2004年3月期		2005年3月期			内容
	金額	構成比	金額	構成比	増減	
資産の部						
【流動資産】	2,020,436	84.8%	2,549,292	87.2%	528,856	
現預金・有価証券	1,417,563	59.5%	1,395,410	47.7%	22,153	営業CF 382,314、投資CF 36,576、財務CF395,328
受取手形・売掛金	87,233	3.7%	743,625	25.4%	656,392	受取手形267,200、売掛金389,190
棚卸資産	483,650	20.3%	340,525	11.6%	143,125	製品 64,140、仕掛品 83,522、原材料4,536
繰延税金資産	28,208	1.2%	32,438	1.1%	4,230	
その他	3,777	0.2%	37,293	1.3%	33,516	未収還付消費税34,835(海外売上が多かったため還付予定)
【固定資産】	360,793	15.2%	374,501	12.8%	13,708	
(有形固定資産)	254,294	10.7%	253,300	8.6%	994	
建物	66,065	2.8%	60,723	2.1%	5,342	
土地	170,898	7.2%	170,898	5.8%	0	
その他	17,329	0.7%	21,678	0.7%	4,349	工具器具備品4,296
(無形固定資産)	1,949	0.1%	1,589	0.1%	360	
(投資その他の資産)	104,549	4.4%	119,610	4.1%	15,061	
敷金保証金	11,160	0.5%	34,101	1.2%	22,941	韓国支店事務所入居保証金23,398
繰延税金資産	69,844	2.9%	61,357	2.1%	8,487	
その他	23,544	1.0%	24,152	0.8%	608	
資産合計	2,381,229	100.0%	2,923,794	100.0%	542,565	

# B S実績(2)

(単位:千円)

科目	平成16年3月期		平成17年3月期			内容
	金額	構成比	金額	構成比	増減	
負債の部						
【流動負債】	786,312	33.0%	617,416	21.1%	168,896	
買掛金	232,069	9.7%	239,656	8.2%	7,587	
短期借入金	90,000	3.8%	90,000	3.1%	0	
1年以内返済長期借入金	62,760	2.6%	54,200	1.9%	8,560	
未払金	8,944	0.4%	52,954	1.8%	44,010	主なものの販売代理店手数料29,122
未払法人税等	70,500	3.0%	89,739	3.1%	19,239	
未払消費税	30,293	1.3%	-	0.0%	30,293	上記の通り消費税の還付となったため
前受金	238,545	10.0%	22,950	0.8%	215,595	
その他	53,199	2.2%	67,916	2.3%	14,717	
【固定負債】	314,627	13.2%	233,435	8.0%	81,192	
長期借入金	138,480	5.8%	80,490	2.8%	57,990	新規の借入は無し。返済のみ。
退職給付引当金	34,705	1.5%	35,025	1.2%	320	
役員退職慰労引当金	141,442	5.9%	117,920	4.0%	23,522	
負債合計	1,100,940	46.2%	850,851	29.1%	250,089	
【資本金】	387,050	16.3%	585,950	20.0%	198,900	IPOによる資本金増加額
【資本剰余金】	166,050	7.0%	529,270	18.1%	363,220	
資本準備金	166,050	7.0%	529,270	18.1%	363,220	IPOによる資本準備金増加額
【利益剰余金】	727,188	30.5%	957,722	32.8%	230,534	
利益準備金	7,020	0.3%	7,020	0.2%	0	
任意積立金	284,000	11.9%	404,000	13.8%	120,000	
当期末処分利益	436,168	18.3%	546,702	18.7%	110,534	
資本合計	1,280,288	53.8%	2,072,942	70.9%	792,654	
負債・資本合計	2,381,229	100.0%	2,923,794	100.0%	542,565	

# CF実績



(単位: 千円)

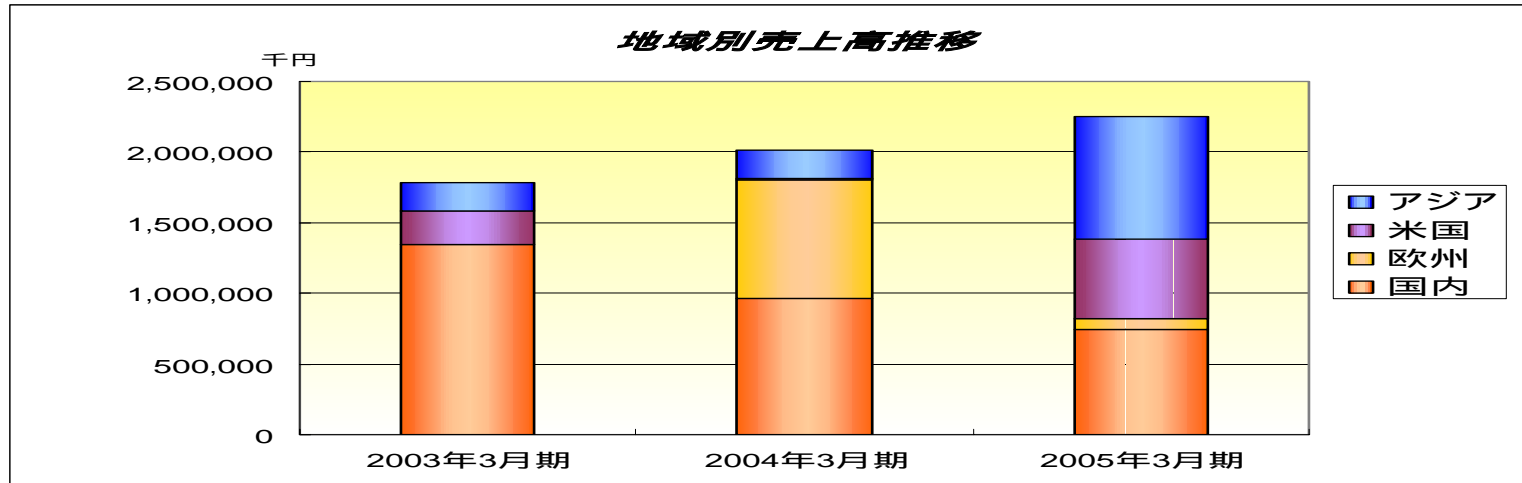
	2003年3月期	2004年3月期	2005年3月期
営業CF	437,042	983,188	382,314
投資CF	14,609	39,056	36,576
財務CF	254,930	122,600	395,328

・2005年3月期の営業キャッシュフローは、主に売上債権の増加656百万円と前受金の減少215百万円によりマイナスとなりました。  
一方、財務キャッシュフローはIPOによる増資により395百万円のプラスになりました。

# 当社の業績の特徴

- 2005年3月期は前期に続き海外販売、特にアジア、米国向け販売が順調でしたが、当社顧客は世界各国に分散しており、国によって重点的な販売をしていることはありません。
- 受注・売上において大きな季節性はありません。
- 当社がマスクCD - SEM市場のパイオニアであるため、ハイエンド製品の引き合いが求められます。
- 海外の新製品及び国内の製品販売については検収基準で売上を計上しているため、業績が検収動向におおきく左右される可能性が認められます。

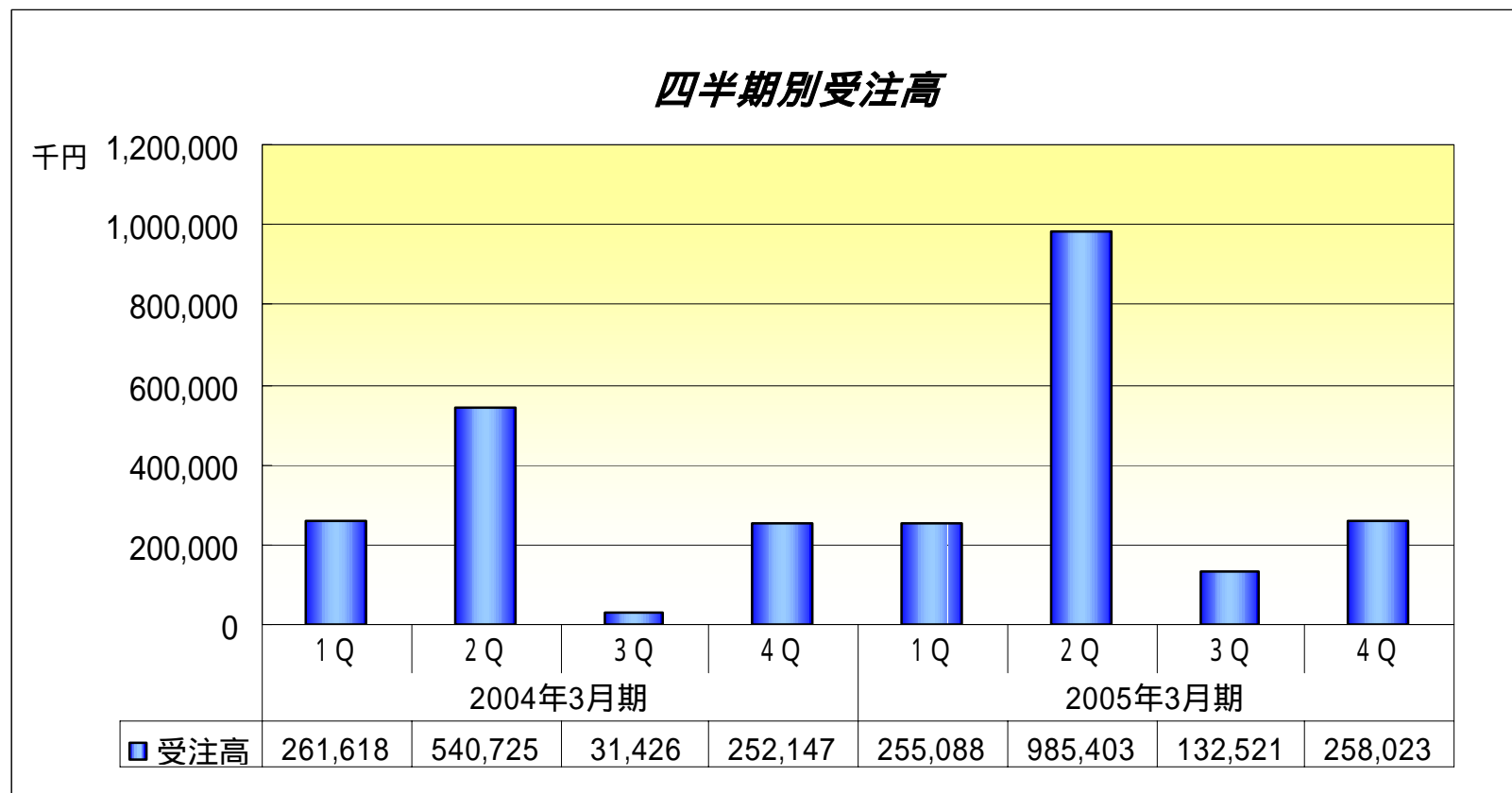
# 地域別販売実績



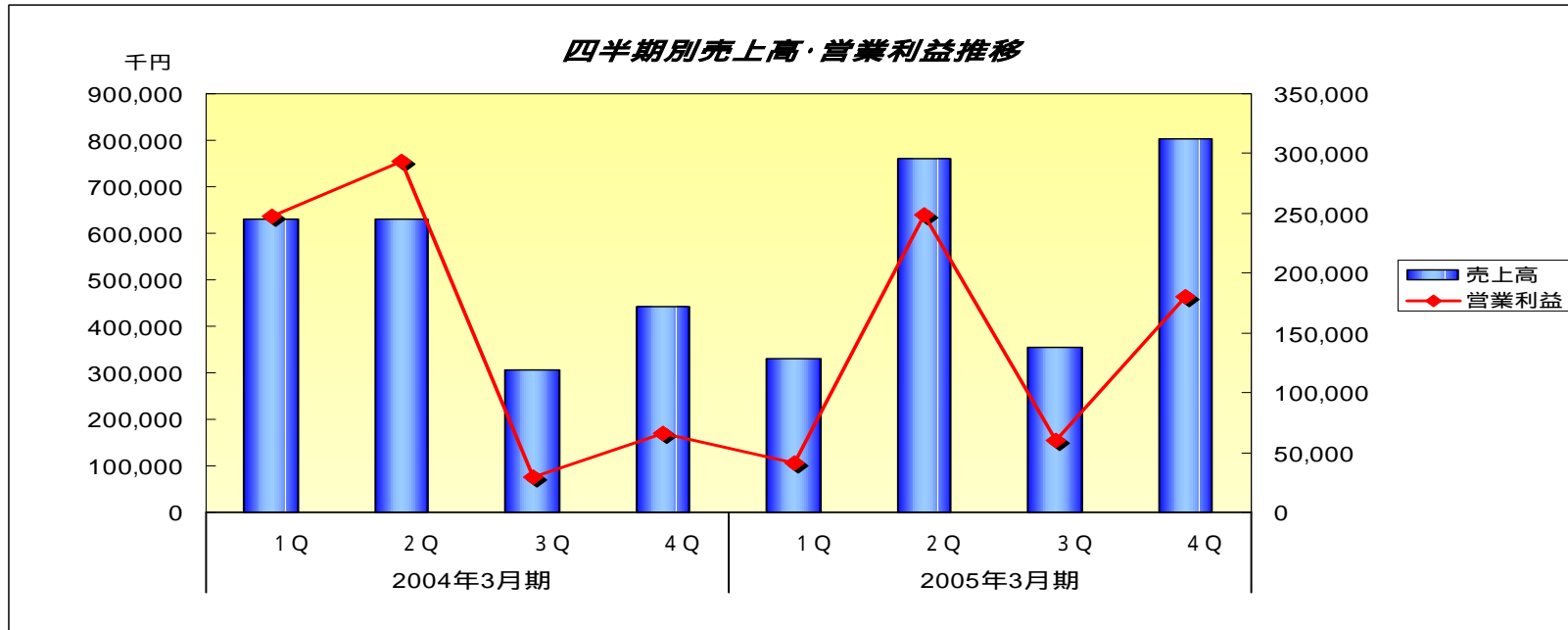
(単位:千円)

	2003年3月期		2004年3月期		2005年3月期	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
アジア	196,715	11.1%	192,908	9.6%	865,784	38.5%
米国	235,900	13.2%	9,481	0.5%	565,606	25.1%
欧州	0	0.0%	845,888	42.0%	77,114	3.4%
海外売上高計	432,615	24.3%	1,048,277	52.1%	1,508,504	67.0%
国内売上高計	1,347,268	75.7%	961,959	47.9%	741,786	33.0%
売上高計	1,779,883	100.0%	2,010,236	100.0%	2,250,290	100.0%

# 四半期別受注高推移



# 四半期別売上高・営業利益推移



(単位:千円)

	2004年3月期				2005年3月期			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	630,001	631,689	304,886	443,661	330,558	760,596	355,041	804,095
営業利益	247,845	293,371	29,423	66,231	41,051	248,165	59,958	180,660



# 3.2006年3月期業績見通し

# 今期業績予想

(単位:百万円)

	2005/3期		2006/3期予想		前期比
	金額	売上比	金額	売上比	
受注高	1,631		2,500		153.3%
売上高	2,250	100.0%	2,300	100.0%	102.2%
営業利益	529	23.6%	452	19.7%	85.4%
経常利益	527	23.4%	450	19.6%	85.4%
当期純利益	334	14.9%	283	12.3%	84.7%

- ・ マスクCD - SEMのマーケットは10%程度の成長を予想。
- ・ 前期から競合他社が参入しており、引き続き特に上期において売上及び利益ともに競争激化の影響を受けるものと予想。
- ・ 下期には当社製品の優位性を理解してもらい、やや回復を見込むものの減益になるものと予想。

# 中期事業戦略

1. マスクCD - SEM市場は今後も10%以上の成長率が見込まれ、この市場で7割程度のシェア獲得を目指す。
2. 新たな成長製品群の開拓(欠陥検査装置等)を行い、早急に成果を出す。
3. 今期からできるだけ早急に、できれば2年以内に売上高30億円を達成する。
4. 優秀な人材の確保を図る。

# 業績見通しの開示について

- 本資料に記載されている内容は、現時点で入手可能な情報に基づき予測したものであり、下記のリスク等や不確定要因等を含んだものであることをご了承願います。
- 当社の製品については国内販売については検収基準、海外については船積基準ですが、新製品等の一部については検収基準により売上を計上しております。本資料における売上見込みは現時点での進捗見込みに基づくものであり、検収が遅れるリスクを含んでおります。
- また、当社を取り巻く経済情勢、株式市場動向等により、実際の業績等が経営目標その他の見通しと異なる結果となる可能性もあります。